所報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町港町塩口24
電話２－９７７２

学校訪問を終えて

一学期、各学校におかれましては、毎日の授業や様々な教育活動の中で子供たちの学力育成や集団づくり等々に取り組み、大変お忙しい毎日を過ごされたことと思います。このような中、各町村教育委員会派遣指導主事とともに学校訪問をさせていただき、ありがとうございました。各学校とも育てたい子供の姿を明確にもち、授業改善を含めた学力育成のための充実した取組が行われ、子供たちが前向きに学習に取り組もうとする姿が見られました。

さて、西郷南中学校区の小中学校では、10月16日～17日「第４回中国・四国地区へき地教育研究大会」「第55回島根県教育研究大会」が開催されることとなり、該当する小中学校では複数回の研究授業を行い、大会へ向けて授業実践に取り組みました。研究授業には、当該校の教員のみでなく、隠岐教研各教科等の部員の積極的参加があり、隠岐全体で取り組む意識が強く感じられました。また、中学校英語科の授業には、小中高等学校教員の積極的な参加がありました。研究大会へ向けた取組にとどまらず、12年間を見通した縦のつながりを意識した研究会となり、今後の指導のあり方を確認できるよい機会となりました。今後、すべての教科等への広がりにも期待が高まりました。

授業改善については、各学校の教員の共通理解のもと、「授業の最初に本時の見通し（学習のめあてや学習の流れ）を示すこと・授業の最後に何を学んだか、何がわかったのか、またはわからなかったのかを振り返る活動」を積極的に取り入れ、昨年度の全国学力・学習状況調査結果を踏まえた島根の子供の課題に係わる改善を意識した授業を行っている学校も増えてきています。

島根県では、『学力』を「学んだ力」と「学ぶ力」ととらえ、就学前から高等学校までの段階を一貫した方針により、系統的に学力の定着を図ることとしています。そして、この『学力』はすべての子供が大切にされる教室での学びによって保障されること、さらに基本的生活習慣の改善を図る中で、家庭学習の習慣化を進めるなど、家庭の役割も大きいとしています。学力育成については、学校を中心として、家庭や地域の協力を得ながら進めていただきたいと思います。

また、児童数の減少により、今後、複式学級と単式学級が変動する学校も増えていきます。そのためにも、数年先を見通した教育課程を編成すること、また、小規模校である利点を最大限に生かした教育が求められています。

今一度、昨年度末に県教委から発行された「複式学級指導の手引」、「平成26年度　各教科等の指導の重点及び指導の重点（個人用）～日々の授業改善と家庭学習の充実のために～」に目を通していただき、授業実践や授業改善等々に役立てていただきますようお願いいたします。

（文責　億岐）

ご存じですか？「相談支援マップ」

昨年度末、隠岐広域特別支援教育「相談支援マップ」を各学校、関係機関に配布させていただきました。このマップは、保護者の方、子供たちに関わる方から「ちょっと気になるんだけど、どこに相談していいのかわからない。」そんな声に応えて作成したものです。

実は、このマップを作成した広域隠岐連携協議会の会議を7月に開催したのですが、その中で、委員の皆様から、このマップの周知をもっと勧めていくとよいという意見をいただきました。そこで、今回この所報を通しても宣伝させていただきます。

このマップが、「ちょっと気になる」「誰かに相談してみたい」そんな思いを持った方の支えとなる有効なツールの一つになれば…という願いを持っています。ぜひマップを一度手にとってご覧下さい。今後このマップが、より手軽に皆様のお手元に届くように、周知や配布方法を検討予定です。（文責　加多）